

令和元年11月17日

あきる野市長
村木 英幸様

武蔵引田駅北口土地区画整理事業の

早期再開を求める決議

ご存知のように本事業計画は、平成12年に住民説明会が行われ、一時中断がありましたが、平成28年には「審議会」も発足し、今月には換地指定が行われて6か月後には移転開始の予定で進められてきました。

ところが村木市長は、10月15日の就任記者会見で「予算の執行を停止し、検討会議を設置する」と宣言し、本事業は再び中断されました。

市はこれまで、平成28年の「事業計画書」において、「市の中心地にふさわしい『利便性の高い複合型市街地』の形成を目的とする」と位置付け、施工期間は10年として、来年4月には移転開始を約束してきました。

私たちはこれまで、切実な要望である下水道の早期敷設や危険な駅前の整備、外灯の増設等についても、「区画整理事業で実現する」と約束してきた市を信じて辛抱してきたのです。

当初、戸惑いもあった居住者も、事業が進展するに伴って決断を迫られ、換地申出には97.9%の人が応じてきました。そして換地指定を目前にして、すでに合併換地として土地の買い増しをした人や建築契約で手付金を支払った人も決して少なくありません。

こうした居住者の対応は、「市のやることだから間違いない」とあきる野市を信じてきたからこそその決断でした。

市長に問います。市民が市を、行政を信じられなくなったらどうなりますか。ことは市と市民との信頼関係の問題です。

市長はこのことに思いを置いて、下記の要望について真摯に受け止め実現して頂くことをお願いするものです。

記

- i. 当該区画整理事業は、速やかに再開し推進してください。